

Title: 「アジアの空に水母が揺れる」



羽立 孝
1981年鹿児島生まれ。2005年から水問題を撮り始め、この海外FWでも水の環境問題を続けて撮り進めて行く。

● 最近のエントリー

- 晴れのち (2006.08.31)
- スアフォン湖一層 (2006.08.30)
- 降りしきる雨の中で (2006.08.29)
- フリーでダラット (2006.08.28)

● アーカイブ

- February 2007
- January 2007
- December 2006
- November 2006
- October 2006
- September 2006
- August 2006
- July 2006
- June 2006
- May 2006
- April 2006
- March 2006

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

- Bangkok
- Hanoi
- Ho-Chi-Minh
- INDIA
- Malaysia
- SiemReap
- Taiwan
- 石垣島

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

アジアの空に水母が揺れる > August 2006 アーカイブ

06.08.31

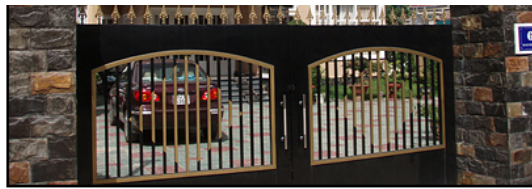
晴れのち

[Tweet](#)

[Check](#)

今日でほぼ現況で知りうるかぎりの全ての川を見て回った。





雨雲来襲。

ダラットで雨が降らない日はまだない。
大抵、午前中は晴れていて夕方から空模様が悪れてくることが多い。
マレーシアのコタバルにいた時もそういった天気だったように記憶している。
とにかく夕方は要注意、なんだと思う。

バンコクは週間天気によるとずっと雨らしい(テレビ情報)。

まだ撮影できる分恵まれているのかもな、と思ってみる。

そういえば停電があった。日本時間の19時半、ベトナム時間の17時半から30分間くらい。
雷付きの大雨が降っていたからきっとそのせいだろう。
記憶に薄いのは、暗いついでにカットフォルダーのフィルムを交換していたからだろうな。
東京よりも停電時間が短いですね。結構長時間を覚悟していたんだけど。。

カテゴリ:

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.08.31 | [パーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#)

[アジアの空に水母が舞える](#) > August 2006 アーカイブ

06.08.30

スアフォーン湖一周

[Tweet](#)

[Check](#)

の前に朝食。

このホテルを選んだ理由がただネットが使い放題というだけ、それと値段設定。
ベトナムについてからダラットのホテルを電話予約をすると夜中の11時にもかかわらず二つ返事でOKだった。
次の日の朝、10時前に目を覚ましロビーに降りる。
するとさらに階下に呼ばれそこにあるのは朝食。まさか朝食が着いているとは知らず寝ぼけ眼で見やると。。



後で某旅行書を見ると「朝食にはパン、フルーツが食べ放題。自家製ジャムに自家製ジュースがサーブされ。。」なんて書いてある。何故わざわざ「サーブ」と言わないといけなかったのかはわからないが、とにかく朝食が食べ放題であることがわかった。

フルーツはパパイヤ、スイカ、パイナップル、バナナ、トマト(フルーツ?)。
奥さんがタマゴを調理している間にこれらのフルーツとフランスパンを頬張りながら待機。
雰囲気という何か居候している気分になる。

朝食を食べてからまた撮影。今日は快晴だ。





結局3時頃には雨が降り出す、木陰で雨宿りをする。
相変わらず山の天気は変わりやすい。

カテゴリ:

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.08.30 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#)

[アジアの空に水母が揺れる](#) > August 2006 アーカイブ

06.08.29

降りしきる雨の中で

[Tweet](#)

[Check](#)

インターネットをやっています。

昼過ぎにホテルを出て、撮影に向かう。

行く先はいつも通り「川」。

たすき掛けの三脚を見て朗らかな笑顔で「撮影ですか？」

そんな家族経営のホテルなアットホームな主人に心温まる。

いつもなら「Check Out?」と聞かれる。実際、スーツケースもって出かけようとするれば多数の人たちがそう思うのかもしれない。でも、背中にはあからさまに三脚が露出し、さらにチェックインの時に背負っていたでかいバックバックがないわけだ。そういうボーイがいるホテルを見ると観察力に欠けるなと思ってしまう。だから撮影しに出かける時のその言葉にはほととんざりしていた。

そういうわけでそんな何気ない一言がちょっと嬉しくなった。

某旅行書に乗っている地図を頼りに川に向かう。



ここダラットにいると自分がベトナムにいることを忘れてしまいそうになる。こここの気候がまず一つ、そして文字を排除したこの様な風景を見ているときながら日本といってもおかしくないのかもしれない。実際、この前のスクーリングで6月から8月にかけて撮った川の風景写真も大きく伸ばしてみた。しかし、それらのほとんどが国の特異性を見ることが出来ず、その写真がインドかネパールか中国か韓国か。それらを判断するのが自分の記憶のみであることに驚きを隠せなかった。それらの写真を「日本」の様だ、と感じてしまうなら日本はとうの昔に「日本らしさ」失っていたのかもしれない。

学校の研修でフランスに行ったことがあるのだがバリを流れるセヌ川はどう見てもバリのものだった。それは両岸にある古くから残る建築物等がその川を「バリ」にしてくれるからだろう。

さながら、土木工学で塗り固められ、建築基準法で整備されたこういった風景はグローバルスタンダードに近いものを感じる。





撮影中に雨が降り出し、ホテルに帰る頃には強い雨になっていた。そしてホテルでインターネット。

06.08.28

フリーでダラット

[Tweet](#)

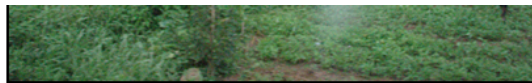
[Check](#)

ダラットはベトナムの南部に位置し、ホーチミンからだとバスで7時間、飛行機で50分の場所に位置する。

この場所は高度1500mに位置し、年間平均気温が20度前後。8月の今でも長袖でほのかに寒気を覚えます。

以下、ホーチミンからダラットに向かうバスの中で撮った映像、ベトナム人の高校生がデジタルハンディカムを持ってはしゃいでおりました。時代は変わるものですね。





到着するころにはすっかり雨でした。明日はきっと晴れるでしょう(願)。

カテゴリ:

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.08.28 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#)

[アジアの空に水母が漂れる](#) > August 2006 アーカイブ

Studio ROMを見学！！

[Tweet](#)

[Check](#)

8月23日AM10:00

局長先生が本校卒業生(つまりは私たちの先輩)のマレーシアで活躍中のアンディさんのスタジオ(Studio ROM)を見学されるということで、同行させていただいた。



スタジオロムの入り口



1階にある大スタジオ、車の撮影も出来ちゃいます。

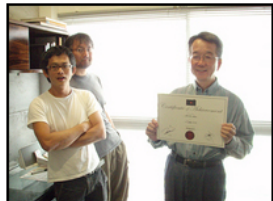


(スタジオ・ロムの鈴木さん)

天井がレフ版になっており、電動で高さを調節できる。角度は手動で変幻自在！



なぜかろみ群(笑)



(左からアンディさん、鈴木さん、局長先生)

マレーシアには写真の専門学校がないため、このスタジオ・ロムから独立する折にはこの卒業証書を渡しているとのこと。



アンディさんの数々の作品を見せていただく。

私自身スタジオ見学をするのは始めてでした。局長先生の話を知ると日本でもこのような大規模なスタジオはそうないとのこと。

この3年間のフィールドワークコースではスタジオに入る機会は中々ありませんが、1年のときのスタジオ実習では大判カメラを使い光の見方を教えて頂きました。それが今日の大判カメラでのフィールドワークに大いに繋がっているので、このスタジオ見学はとても感慨深いものがありました。このような貴重な体験をできとても感謝しています。

アンディさん、鈴木さんそしてStudio ROMの皆様
この度はお忙しい中、スタジオ見学させていただきありがとうございました。

カテゴリ：

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.08.28 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#)

[アジアの空に水母が漂れる](#) > August 2006 アーカイブ

06.08.17

@ペタリンジャヤ

[Tweet](#)

[Check](#)



160枚現像終了！

200枚まで後少し。。。。

カテゴリ：

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.08.17 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#)

[アジアの空に水母が漂れる](#) > August 2006 アーカイブ

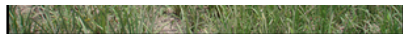
06.08.14

川の代価

[Tweet](#)

[Check](#)





カテゴリ:

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.08.14 | [パーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#)

[アジアの空に水母が舞える](#) > August 2006 アーカイブ

06.08.12

rivers

[Tweet](#)

[Check](#)

韓国 6 日目。

撮影中に 4×5 のカメラが降ってきた。

正確に言うと三脚にカメラをつけたまま移動しようとした所、三脚のネジが締まりきっておらず地面を離れ角度を持つことにより、重心が移動・回転し、その結果自分の右側頭部にヒットしたのだ。

ウッドタイプ(木製)じゃなく金属等を主に使っているので、そのカメラの重さによる痛みは計り知れず思わず片足をつき気を失いかけた。

今日はそれが一番おもしろかった(痛かったけど)、というよりも今頭の中がそれ一色なので他に文章が浮かばない。取り留めない話をご一読くださいませありがとうございました。





以下に山市の体調について

!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!

[続きを読む "rivers" »](#)

カテゴリ:

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.08.12 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#)

[アジアの空に水母が揺れる](#) > August 2006 アーカイブ

06.08.11

ソウルにて

[Tweet](#)

[Check](#)

8月6日、北京から天津に向けてバスで出発し、午前11時に中国の天津から仁川に向けてフェリーにて出港。

フェリーで移動するのは石垣島から台湾の高雄への移動の時に使った以来だ。



仁川に着いたのは次の日の14時。
この日の移動時間は27時間、多少長いが特に意に介する長さではない。



仁川からソウルへ、ローカルバスと地下鉄等乗り継ぎ2時間弱でホテルに到着。チェックイン数時間後は部屋はこのような状態。男4人が6畳1間で共同生活をすればまあこんなものでしょうか(笑)ちなみに窓際でジッソが洗濯物干しになってます。ジッソはよく脚が開いてくれるので多種多様にお世話になっています。



昨日はちょうどホテルの窓から花火を見ることが出来た。今年見る最初のの花火だ。ちなみに去年見た最初の花火はフランス革命記念日の日、場所はパリ。花火よりもその奇遇に心を捉われてしまった。花火はすぐ終わり撮ることができたのはこの1枚だけ。カメラを手に取ったのでそのついでに月にレンズを向けてみた。



ピンホールカメラのように。

あの向こうから飛び込んでくる映像は一体何を見せてくれるのか？

そんなことを考えていた、ふとワクワクしてる自分に気付いた。

カテゴリ：

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.08.11 | [パーマリンク](#) | [コメント \(7\)](#)

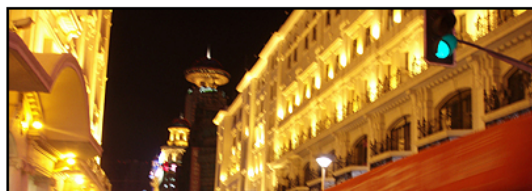
[アジアの空に水母が舞える](#) > August 2006 アーカイブ

06.08.05

on the way

[Tweet](#)

[Check](#)





ロム！ロム！北風に移動。その際の上昇の軌跡の付回帰は次週体シノアがのソ山形時刻まで待つ
り過ごすことができた。

今日は8月5日。昨日が中国での集合日でいつも通りの顔ぶれをいつも通りに見ることができ
た。当たり前だけどこれが何よりだ。「飛行機が遅れた」とか「連絡が取れない」なんてことが
あれば一騒動だ。この「いつも通り」が「いつも通り」であれたことをふと鎮しく感じた。これ
が引率の五十嵐先生なら尚更であることは言うまでもないだろう、心労お察しします。
次に散会して集合するのは釜山。日本に向かう場所だ、このフィールドワークももうすぐ終わり
なんだ。

カテゴリ：

post by 羽立 孝 | 日時: 2006.08.05 | [パーマリンク](#) | [コメント \(7\)](#)